

☆ 探鳥会 ここが見どころ聞きどころ ☆

「雲仙アザミ谷探鳥会」

山口雅生

【日 時】 6月1日(日) 9:30～12:00

【集合場所】 雲仙市小浜町 仁田峠駐車場

【リーダー】 山口雅生 (携帯 090-9584-7830)

【事前申し込みが必要です】

いつもより早い9時30分、集合場所は売店の向かい側のところです。

雲仙といえばミヤマキリシマが有名ですがもう過ぎています。その代わりもう一つの雲仙ならではの植物「ヤマボウシ」が見ごろになります。花卉のように見える白い4枚の「総苞片」の真ん中に、緑色の金平糖のような花をつけます。白い総苞片が頭巾のように見えるので、「山法師」の名で呼ばれています。緑の山のあちこちが白く覆われ、「雲仙市の木」になっています。突然変異なのか時々見られる薄いピンク色の花もとてもきれいです。秋には赤い実となり、少し甘く食べられます。

さて、鳥はというと、夏鳥が勢ぞろいしています。ホトトギスが「てっぺんかけたか」と鳴きながら飛び回っているでしょう。遠くに見える絹笠山の木の上にはカッコウが鳴いているかもしれません。オオルリのゆったりした囀り、キビタキのテンポよい囀り、ソロなら美しいけれど合唱となると少々騒々しいソウシチョウの囀りと、バラエティーにとんでいます。水場周辺では、クロツグミや、ミソサザイの惚れ惚れするような美声も聞けるかもしれません。ミソサザイは噴火前までは、普賢岳の裏側の鬼人谷に多くいました。現在はどうかのでしょうか。時間があって、体力が充実したときに一度行ってみたいと思っていますが、実現する自信がないのでどなたか行ってきてくれませんか。

下界は少々暑くなる頃ですが、雲仙は最も過ごしやすい時期です。たくさんの草花にも出会え、心と目の保養になりますよ。



クロツグミ 吉原昌弘



ホトトギス 今里順一郎